

2017年度 第2四半期決算説明会における質疑応答

日 時： 2017年10月31日（火）17:30～18:00
場 所： NEC本社ビル B1F（多目的ホール）
説明者： 代表取締役 執行役員社長 兼 CEO 新野 隆
代表取締役 執行役員常務 兼 CFO 川島 勇

質問者A

- Q 指名停止の影響を見直されているが、2Qでどの程度の影響があり、下期にどの程度の影響が出る見込みか教えて下さい。
- A 2Qの影響額は売上で100億円程度、営業損益で20億円程度でした。下期の影響額は売上で270億円、営業損益で70億円程度となる見込みです。
- Q 2Qの利益インパクト20億円はパブリック事業に効いているという理解で良いですか。
- A はい、パブリック事業です。
- Q 想定よりパブリック事業が改善したと理解しました。テレコムキャリア事業は想定より営業利益で20億円下振れし、パブリック事業は同20億円改善したということだと思います。指名停止の影響等を踏まえると、実際はパブリック事業が想定よりかなり良かったと思いますが、そういう理解で良いですか。また、どのような内容で改善したのか教えてください。
- A パブリック事業で想定より良かったのは営業利益で20億円程度です。連結化した日本航空電子工業の上振れが20億円程度ありました。指名停止の影響額は想定比で若干の減少でしたが、他が思ったほど持ち上がってきませんでした。
- Q 戦略投資を具体的に配分されたが、上期に実際に使った金額はどの程度ですか。また、まだ配分していない部分の状況を教えてください。
- A 今回、戦略投資80億円のうち50億円をセグメントに配分しました。このうち、上期にエンタープライズ事業で年間30億円の半分、15億円程度を使いました。また、その他セグメントで数億円使ったので、全体では上期で20億円程度使っています。したがっ

て、下期では30億円を使う予定です。まだ配分していない残りの30億円については検討を継続しています。

Q 1月末に発表予定の中期経営計画の検討状況について、今度の中期経営計画の核となるものは何なのか、ヒントをいただけないでしょうか。例えば利益水準や、どういった事業を伸ばすか等、現在構想されている状況を教えてください。

A 新しい中期経営計画は現在検討中ですが、まずは足元の収益性をどうやって改善させるかが第一であると考えています。今年度も色々な手を打っていますが、次の3年間で費用削減、不採算案件の抑制や低収益領域の改善をどこまで進めていくのか、これを徹底的にやり切ることになります。次に、成長領域についてどこを柱とするかという点です。これまでは主に海外に注力していましたが、これからは、国内でも自動車の領域やオリンピックなど新しい領域が出てきます。これらは我々の持っているAI、IoTの強みを活かせる領域であり、収益性をどうやって高めていくかを検討しています。また、課題であった海外事業については、ビジネス領域や地域を絞り込みながら事業の柱としていくような方策を立てていきたいと思っています。足元の収益性の改善を徹底的に行うこと、国内事業を含めた成長事業の具体化を進めていくことが必要と考えています。

以 上